

設立50周年記念特集

一般社団法人 千葉県浄化槽協会

1971年3月1日に法人設立した一般社団法人千葉県浄化槽協会(石井健嗣理事長、会員215社)は、今年で設立50周年を迎えた。それを記念して弊紙では、同協会の長きにわたる繁栄に敬意を表し、「浄化槽の日」(10月1日)に合わせた「設立50周年記念特集」を企画。石井理事長のあいさつのほか、熊谷俊人・千葉県知事をはじめ、上部団体である一般社団法人全国浄化槽団体連合会の上田勝朗会長、浄化槽技術の向上と関係技術者の養成・継続教育の進展、浄化槽の調査研究の展開・技術開発、浄化槽システムの情報発信を行う公益財団法人日本環境整備教育センターの由田秀人理事長からの祝辞で構成した。

一般社団法人千葉県浄化槽協会 理事長 石井 健嗣氏

省エネ浄化槽を推進 整備区域の普及掲げ



一般社団法人千葉県浄化槽協会の設立50周年を迎えるにあたり、一言挨拶を申し上げます。

当協会は、1971年3月1日に一般社団法人(当時社団法人)千葉県浄化槽協会として設立し、今日に至っているところであり、2020年から、新型コ

ロナウイルスが発生し、2021年9月9日現在、第5波による緊急事態が9月30日まで延長され、東京都、千葉県を始めとして、19都道府県までに決定され、感染者が150万人以上にもおよび、医療体制が最優先課題とまでとなっている現状であります。

また、まん延防止等重点措置に至っては、福島県を初めとして、8県と拡大しております。

国においては「浄化槽リノベーション」として、骨太方針と成長戦略(いずれも2018年6月15日閣議決定)等が政府の方針に位置づけられ、その内容として「浄化槽整備区域の普及」「単独転換の推進」「省エ

ネ浄化槽整備の推進」が掲げられています。

このことから、生活排水対策事業として、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への普及促進を図り、湖沼、河川等公共用水域等の水質保全を推進しています。

特に、単独転換については、老朽化した単独処理浄化槽を対象に、宅内配管工事を含めた転換を推進する事となっております。当該事業の促進のため、研修会、リーフレットの作成等に関する企画を試み、各市町村への事業の支援等を実施しています。

千葉県は「観光県」と呼ばれていますので、下水道既整備処理区域等における人口減少に伴う収益改善等の課題があります。

管理運営については、困難な状況も見受けられるところから、浄化槽整備区域を拡大して、法定検査等の費用の助成制度を鑑み、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することに努めています。

生活環境保全に敬意 合併処理へ転換強化

公益財団法人日本環境整備教育センター理事長 由田 秀人氏



このたび一般社団法人千葉県浄化槽協会が設立50周年を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。貴協会は、今日まで傘下にも、私も日本環境整備り確たる地位を築いてこられ、浄化槽に関する技術の向上及び知識の普及並びに浄化槽の設計、製造、施工及び維持管理を通じて地域社会への貢献と生活環境の保全、公衆衛生の向上に寄与してこられましたことに対して深く敬意を表する次第です。

また、今般の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、感染された方々やそのご家族、不安のなかにおられる方々に対して心からお見舞いを申し上げます。

さて、令和元年度における我が国の汚水処理人口普及率は91.7%に達したものの、未だ約1050万人が汚水処理施設を利用できない状況となっております。

さらに、現在も約380万基の単独処理浄化槽が残存しており、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や浄化槽の性能を確保するための法定検査実施率や浄化槽台帳整備が切実な問題となっております。

平成17年以降14年ぶりに浄化槽法の一部を改正する法律案が成立し、令和2年4月1日に施行されました。法改正において、浄化槽の設置及び管理に関する必要な協議を行うための協議会を組織することなどが規定されました。

14年ぶり法改正で浄化槽整備が加速

また、浄化槽の適正な整備・推進のために、浄化槽の使用の休止に関する規定を設け、浄化槽管理士に対する研修の機会を確保すること等の強化が図られ、こと

10月1日は「浄化槽の日」リノベーションを加速

千葉県知事

熊谷 俊人氏

県民の生活環境向上 水環境の保全に貢献



一般社団法人千葉県浄化槽協会が設立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会の皆様には、設立以来、合併処理浄化槽への転換に係る啓発活動や事業者への技術指導等を通じ、

千葉県の水環境の保全及び県民の生活環境の向上に御貢献いただいておりますこと、深く敬意と感謝の意を表します。

県内の河川、湖沼、海域等の公共用水域の水質は、長期的には改善の傾向にあるものの、下水道の一層の整備のほか、し尿のみを処理する既設の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や、閉鎖性水域の流域における高度処理型の合併処理浄化槽の設置を促進するため、国や市町村と協働して助成を行っています。

また、浄化槽の性能を十分に発揮するには、施工と

市町村へ事業支援



一般社団法人全国浄化槽団体連合会会長 上田 勝朗氏

公衆衛生向上に尽力 普及整備へまい進を

二般社団法人千葉県浄化槽協会におかれましては、設立50周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

貴協会は歴代会長を中心として、時代の要求に的確に対応され、単独処理浄化槽

ら合併処理浄化槽への転換促進のため市町村へ積極的に関与し、浄化槽設置数全国一位を誇る千葉県における水環境の保全と生活排水対策の推進、公衆衛生の向上に貢献してこられました。

皆様の一貫したご努力・取り組みに対し、衷心より敬意を表するものであります。

森里川海の循環力支える浄化槽に舵

全浄連の令和3年度要望におきましては、「単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進」を柱として、「カーボンニュートラル浄化槽システム構築へ向けた二酸化炭素排出抑制対策補助事業の継続」「浄化槽整備区域における浄化槽の転換を促進」を柱として、最後に新型コロナウイルスとの戦いに勝利するための、全力を尽くしてまいります。ともに、この緊急事態を乗り越えていきたいと思います。

貴協会がますますの発展と、会員各位のご健勝を心から祈念申し上げます。

一般社団法人 千葉県浄化槽協会

「みんなで、きれいな河川、湖沼を守りましょう。」

生活排水対策として、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽の転換制度を活用するとともに、河川、湖沼などの水質浄化を目指し、積極的に合併処理浄化槽を設置しましょう。